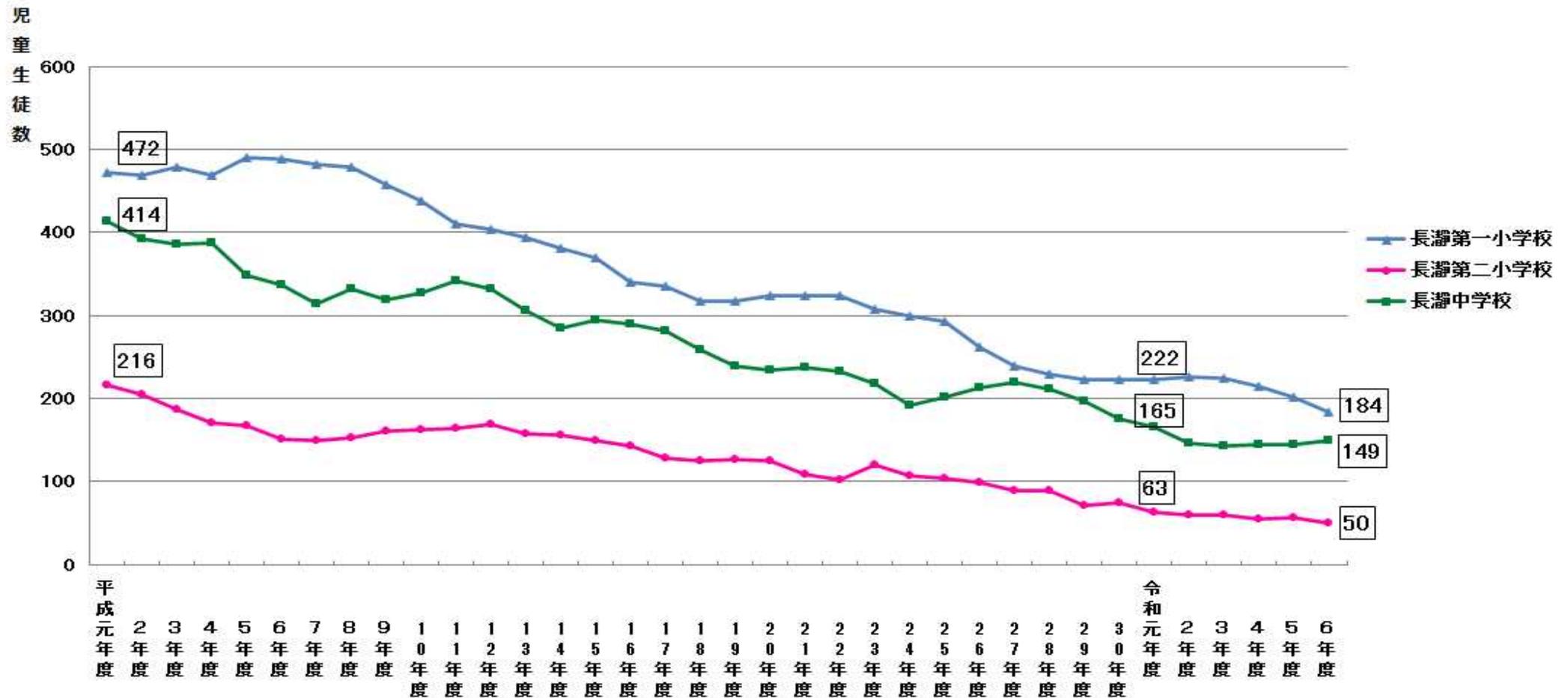


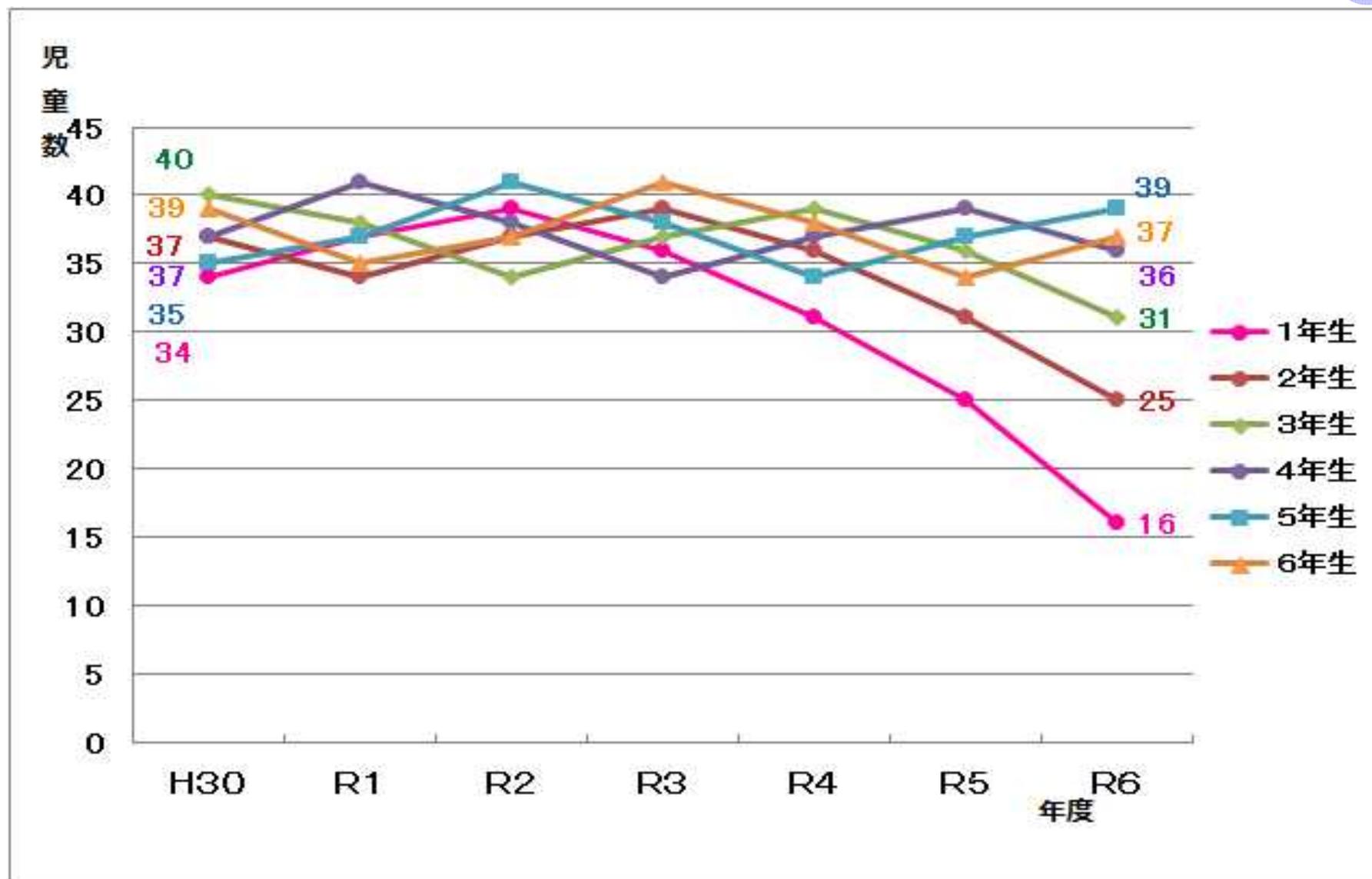
長瀬町立小中学校 児童生徒数の現状と課題

長瀬町教育委員会

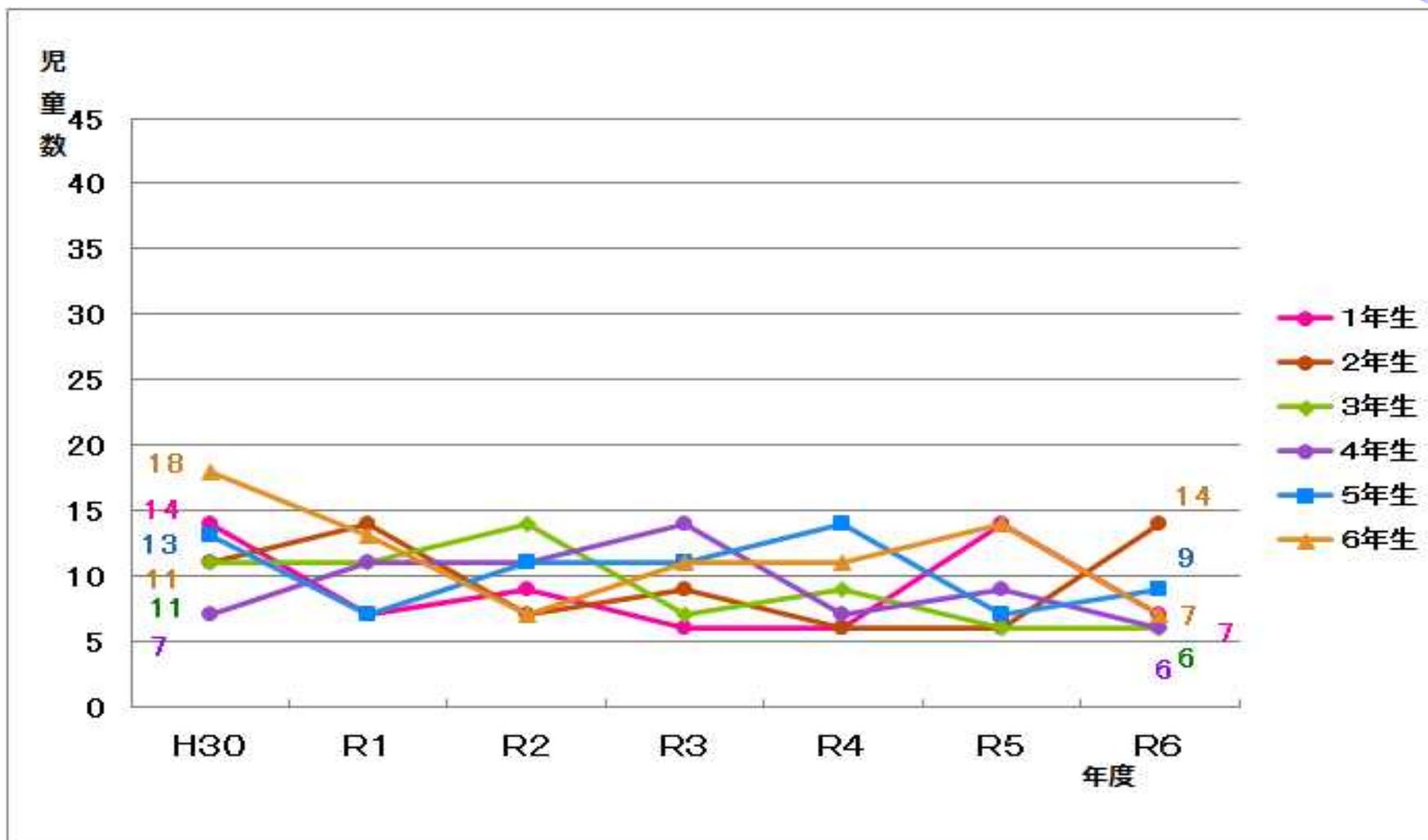
小中学校児童・生徒数の推移と推計



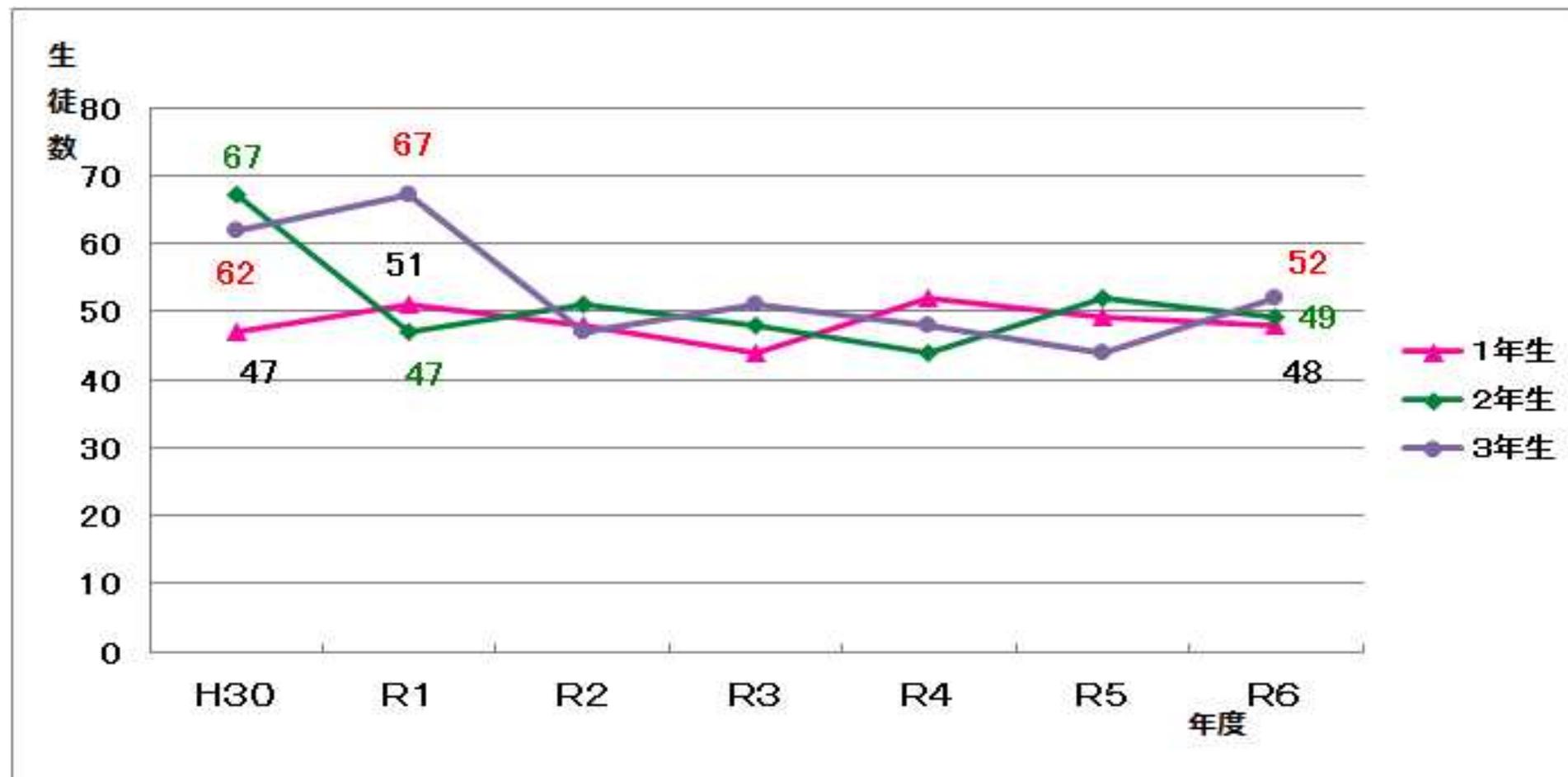
第一小学校児童数の現状と推計



第二小学校児童数の現状と推計



中学校生徒数の現状と推計



小学校における児童数・学級数の現状と推計

年度	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6	
学校名	児童数	学級数												
長瀬第一小学校	216	7	211	6	215	6	217	6	212	6	201	6	184	6
1年生	34	1	34	1	39	1	36	1	31	1	25	1	16	1
2年生	36	2	33	1	34	1	39	1	36	1	31	1	25	1
3年生	38	1	36	1	33	1	34	1	39	1	36	1	31	1
4年生	35	1	39	1	36	1	33	1	37	1	39	1	36	1
5年生	35	1	34	1	39	1	36	1	33	1	37	1	39	1
6年生	38	1	35	1	34	1	39	1	36	1	33	1	37	1
長瀬第二小学校	74	6	62	6	56	5	55	5	51	5	55	4	49	4
1年生	14	1	7	1	9	1	6	1	6	1	14	1	7	1
2年生	11	1	13	1	7	1	9	1	6	1	6	1	14	1
3年生	11	1	11	1	13	1	7	1	9	1	6	1	6	1
4年生	7	1	11	1	10	1	13	1	7	1	9	1	6	1
5年生	13	1	7	1	10	1	10	1	13	1	7	1	9	1
6年生	18	1	13	1	7	1	10	1	10	1	13	1	7	1

【令和元年10月1日現在】特別支援学級在籍児童は含まない
 二つの学年の児童で学級を編成する場合、小1を含む場合は8名以下、小2以上は16人以下になった場合、複式学級になる。

中学校における生徒数・学級数の現状と推計

年度	H30		R1		R2		R3		R4		R5		R6	
学校名	生徒数	学級数												
長瀬中学校	169	6	160	6	145	6	140	6	138	6	136	6	141	6
1年生	46	2	51	2	48	2	41	2	49	2	46	2	46	2
2年生	63	2	46	2	51	2	48	2	41	2	49	2	46	2
3年生	60	2	63	2	46	2	51	2	48	2	41	2	49	2

【令和元年10月1日現在】 特別支援学級在籍児童は含まない

現状と推計を踏まえた課題

- 第二小学校児童数の減少による第一小学校との教育環境の格差。
- 第二小学校家庭数減少による保護者役員の負担増加に伴うPTA活動の縮小（役員数減少による部会の減少）。
- クラス替えがなく固定化された人間関係。
- 多様な価値観にふれ、多様な人間関係の経験が少なくなる。
- 第二小学校の児童数推計によると令和3年度に2年生9人、3年生7人の複式学級になる可能性がある。
- 推計によると、出生数の減少により児童数はますます減少すると推測される。
- お互いに切磋琢磨する環境づくりが必要。
- 児童生徒数の減少を踏まえた小中一貫教育の検討が必要になる。